

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 15 週（2024/4/8～4/14）感染症発生動向調査速報値（ 2024/4/17 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **182** 人、定点医療機関当たり **3.96** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科28定点、内科18定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

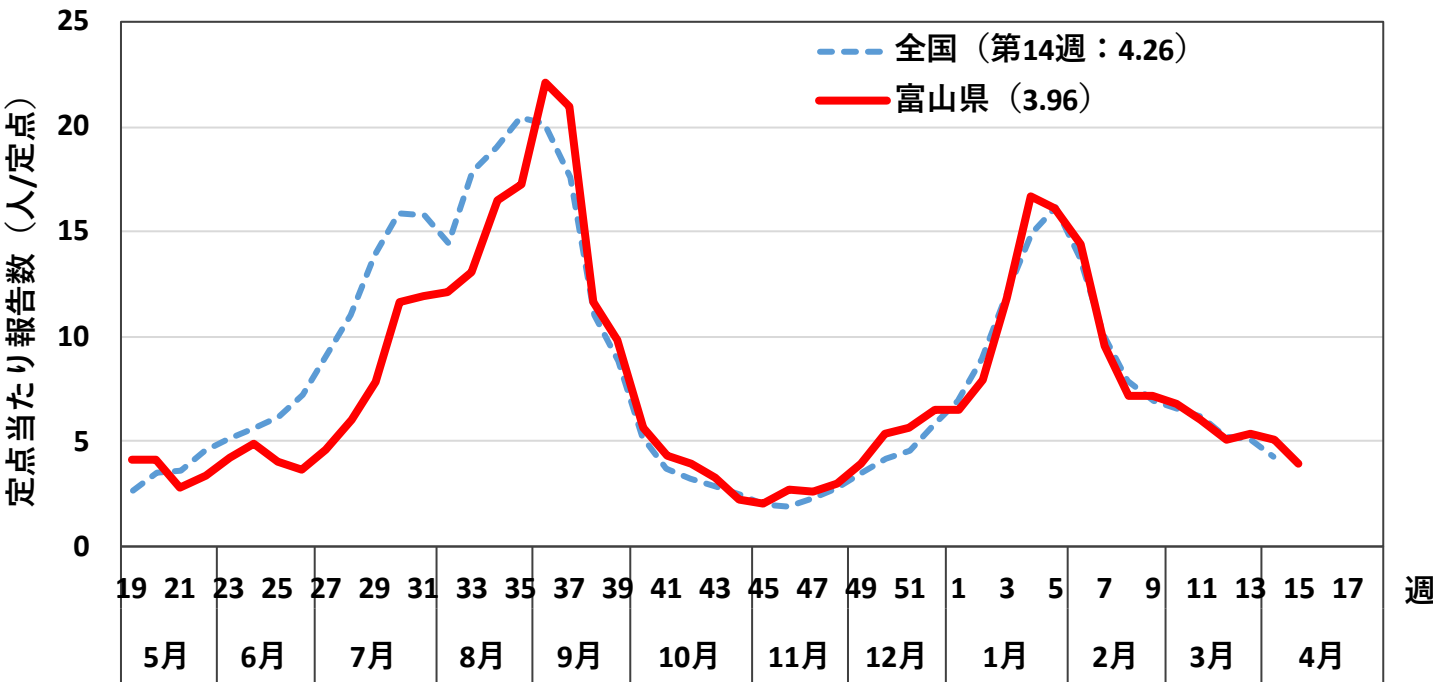
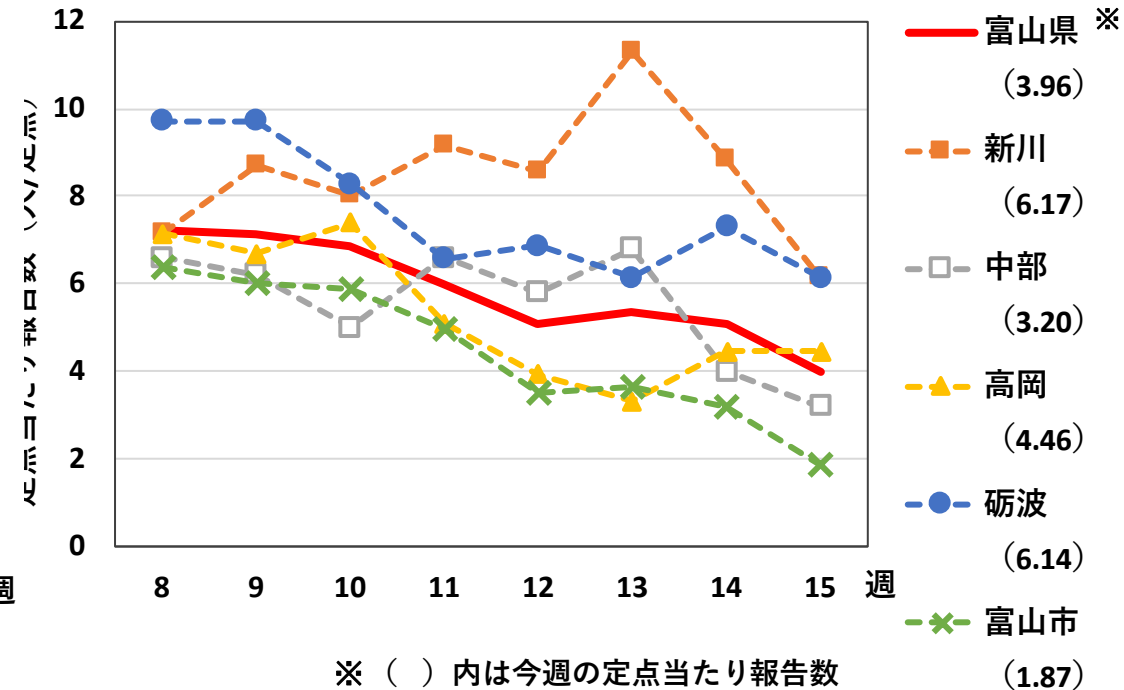


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 今種の定点医療機関当たり報告数は3.96人/定点であり、先週（5.09人/定点）からやや減少した（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別にみても、全ての管内で先週から減少または横ばいであった。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

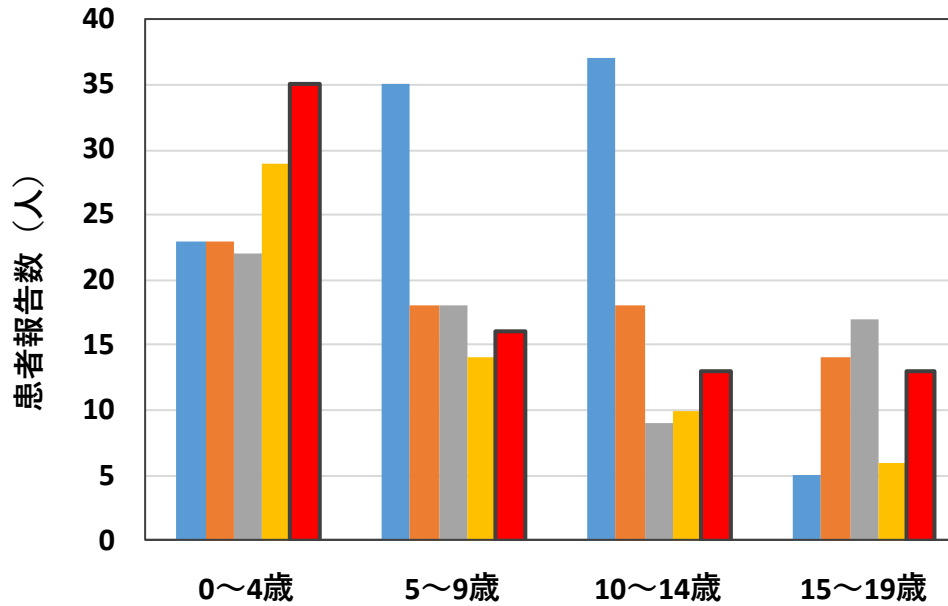
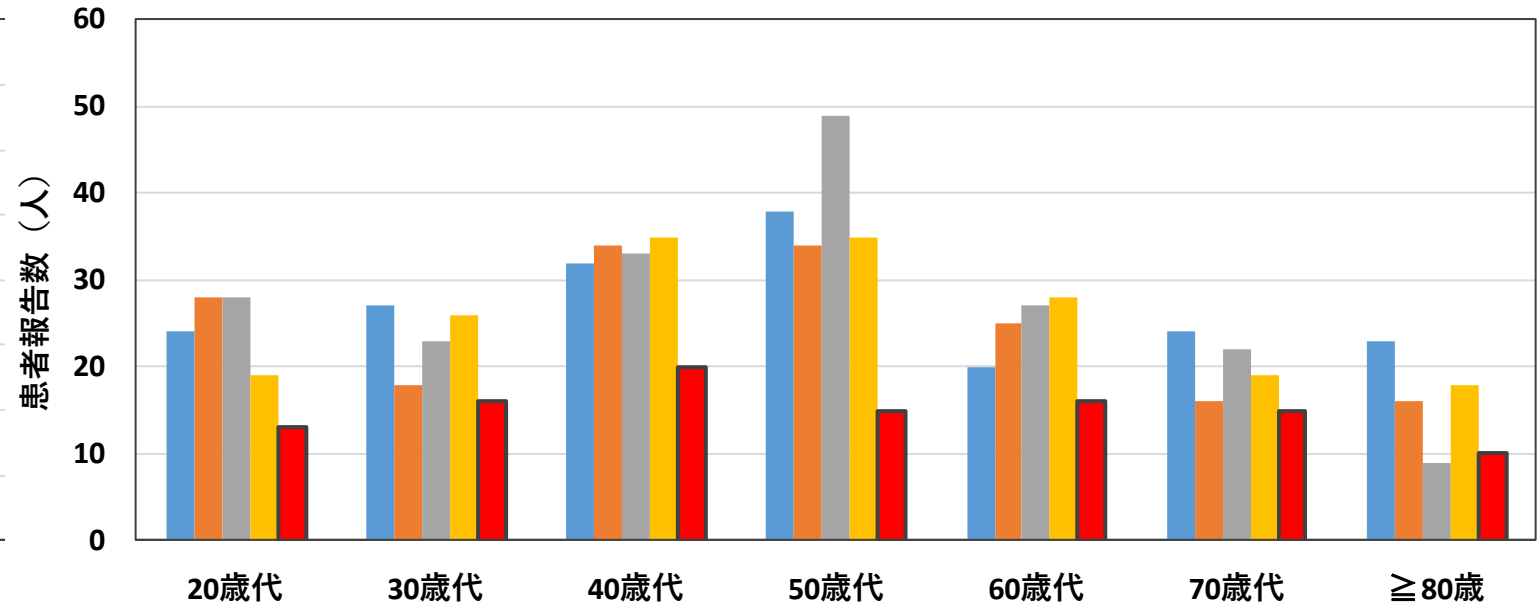


図3-2. ≥20歳



■ 第11週 ■ 第12週 ■ 第13週 ■ 第14週 ■ 第15週

※定点医療機関は小児科が多い（小児科：28定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 20歳未満で先週から増加した一方、20歳以上のすべての年代で減少した。

図4. COVID-19入院サーベイランス

患者報告数の推移（富山県）

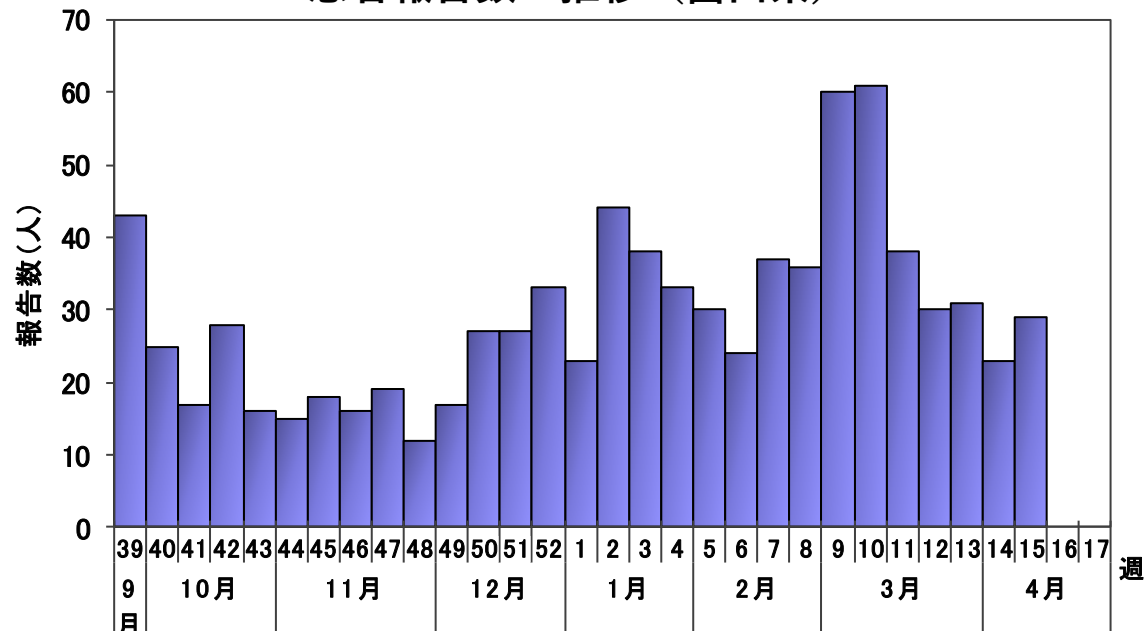
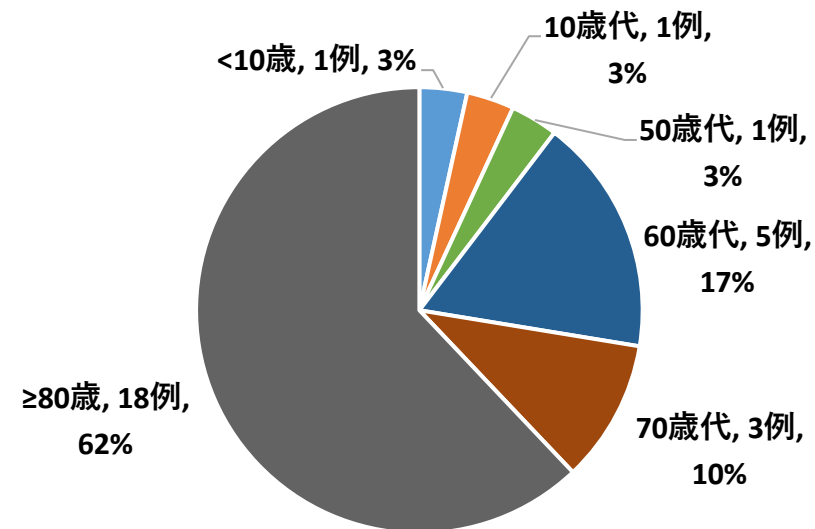


図5.COVID-19入院サーベイランス

年代分布（第15週、29例）



※割合(%)は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第15週に29例の入院報告があり、先週（23例）より増加した（図4）。
- 年代分布では、70歳代が3例、80歳以上が18例で、70歳以上が72%を占めた。60歳代で5例、50歳代、10歳代、10歳未満の報告がそれぞれ1例あった（図5）。
- COVID-19の患者報告数は、2024年に入り第4週をピークに減少傾向が継続しているが、減少の割合は鈍化している。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。